



平成 29 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 トラストホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 喜久田 匡宏
 (コード番号：3286 東証マザーズ・福証Q-Board)
 問合せ先 専務取締役 矢羽田 弘
 (TEL. 092-437-8944)

(訂正・数値データ訂正) 「平成 29 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 29 年 8 月 10 日に開示いたしました「平成 29 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

訂正内容と理由

平成 29 年 6 月期決算短信発表後の有価証券報告書の作成過程におきまして、連結財務諸表等の記載内容に一部誤りがあることが判明したため、関連項目も併せて訂正するものであります。また、「その他」の区分のセグメントにて記載しておりました「メディカルサービス事業」は報告セグメントに該当することが判明したため、記載内容の一部訂正を行うものであります。

なお、訂正箇所は _____ を付しております。

【訂正箇所】サマリー情報 1 ページ

1. 平成 29 年 6 月期の連結業績(平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

<訂正前>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年6月期	814	237	△1,837	1,139
28年6月期	1,908	△463	△1,142	1,923

<訂正後>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年6月期	939	98	△1,822	1,139
28年6月期	1,908	△463	△1,142	1,923

【訂正箇所】添付資料 3 ページ

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

<訂正前>

●その他事業

その他事業につきましては、特に新規事業の早期収益化に向け注力してまいりました。

当第1四半期連結会計期間にはスキンケア商品「ミニュール」の販売を開始いたしました。また、当第2四半期連結会計期間には、トラストホームエナジー株式会社において、エネファーム及びオール電化等の住宅設備機器等の販売活動を開始いたしました。

以上の結果、売上高 418,209千円（前年同期比 12.1%増）、営業損失 160,662千円（前年同期は 19,185千円の営業利益）となりました。

<訂正後>

●メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては医療機関等からの収入を中心に安定した売上を計上してまいりました。なお、営業貸付金の一部 34,700 千円を貸倒引当金繰入額に計上いたしました。

以上の結果、売上高 189,684 千円（前年同期比 0.3%増）、営業損失 6,945 千円（前年同期は 55,486 千円の営業利益）となりました。

●その他事業

その他事業につきましては、特に新規事業の早期収益化に向け注力してまいりました。

当第1四半期連結会計期間にはスキンケア商品「ミニュール」の販売を開始いたしました。また、当第2四半期連結会計期間には、トラストホームエナジー株式会社において、エネファーム及びオール電化等の住宅設備機器等の販売活動を開始いたしました。

以上の結果、売上高 228,524千円（前年同期比 24.3%増）、営業損失 153,716千円（前年同期は 36,300千円の営業損失）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

<訂正前>

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「キャッシュ・フロー」という。）は、前連結会計年度末と比較し、783,944 千円減少し、1,139,900 千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、814,481千円のプラス（前年同期は 1,908,822 千円のプラス）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益 255,249 千円を計上したことのほか、駐車場設備等の減価償却費 600,981千円、のれん償却額 93,806 千円、アミューズメント事業及びRV事業等の減損損失 272,230 千円、たな卸資産の減少 2,936,710千円、前受金の減少額 3,359,360 円、利息の支払額 177,958 千円、法人税等の支払額 88,709 千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、237,510千円のプラス（前年同期は 463,001 千円のマイナス）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 591,559千円、有形固定資産の売却による収入 948,047千円、有価証券の取得による支出 90,554 千円、有価証券の売却による収入 76,284 千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,837,113千円のマイナス（前年同期は 1,142,227 千円のマイナス）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額 2,770,000 千円、長期借入れによる収入 2,920,000 千円と長期借入金の返済による支出 1,711,704 千円、配当金の支払額 81,340 千円等によるものであります。

<訂正後>

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「キャッシュ・フロー」という。）は、前連結会計年度末と比較し、783,944 千円減少し、1,139,900 千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、939,653千円のプラス（前年同期は1,908,822千円のプラス）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益255,249千円を計上したことのほか、駐車場設備等の減価償却費630,574千円、のれん償却額93,806千円、アミューズメント事業及びRV事業等の減損損失272,230千円、たな卸資産の減少3,037,979千円、前受金の減少額3,359,360円、利息の支払額177,958千円、法人税等の支払額88,709千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、98,030千円のプラス（前年同期は463,001千円のマイナス）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出781,466千円、有形固定資産の売却による収入966,954千円、有価証券の取得による支出90,554千円、有価証券の売却による収入76,284千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,822,804千円のマイナス（前年同期は1,142,227千円のマイナス）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額2,770,000千円、長期借入れによる収入2,920,000千円と長期借入金の返済による支出1,711,704千円、配当金の支払額81,340千円等によるものであります。

【訂正箇所】添付資料 4ページ

(4) 今後の見通し

<訂正前>

今後の見通しにつきましては、（中略）

当連結会計年度において損失が出ておりますアミューズメント事業及びRV事業におきましては、サービス力の向上、販売体制の構築等を早急に実施することにより収益の確保を図ってまいります。

その他事業におきましては、広告事業、メディカルサービス事業、警備事業等の既存事業に加え、スキンケア商品「ミニュール」の販売を行うコスメ事業、エコ商品販売事業等の各種新規事業につきましても、将来のグループの主要事業へと育成すべく、まずは早期の黒字転換を目指して販売力の強化等に注力してまいります。

以上のことから、次連結会計年度の業績につきましては、売上高14,000,000千円（前年同期比20.4%減）、営業利益530,000千円（前年同期比15.0%減）、経常利益400,000千円（前年同期比13.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益150,000千円（前年同期比245.1%増）を見込んでおります。

<訂正後>

今後の見通しにつきましては、（中略）

当連結会計年度において損失が出ておりますアミューズメント事業、メディカルサービス事業及びRV事業におきましては、サービス力の向上、販売体制の構築等を早急に実施することにより収益の確保を図ってまいります。

その他事業におきましては、広告事業、警備事業等の既存事業に加え、スキンケア商品「ミニュール」の販売を行うコスメ事業、エコ商品販売事業等の各種新規事業につきましても、将来のグループの主要事業へと育成すべく、まずは早期の黒字転換を目指して販売力の強化等に注力してまいります。

以上のことから、次連結会計年度の業績につきましては、売上高14,000,000千円（前年同期比20.4%減）、営業利益530,000千円（前年同期比15.0%減）、経常利益400,000千円（前年同期比13.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益150,000千円（前年同期比245.1%増）を見込んでおります。

【訂正箇所】添付資料 11ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

<訂正前>

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	(自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△47,056	255,249
減価償却費	641,750	600,981
減損損失	22,173	272,230
のれん償却額	97,249	93,806
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,017	38,241
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,710	8,690
株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,918	1,728
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,916	1,243
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△278	△623
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	1,046
受取利息及び受取配当金	△3,291	△2,586
支払利息	217,098	179,588
固定資産除却損	1,484	3,907
投資有価証券売却損益(△は益)	△106	△913
固定資産売却損益(△は益)	8,781	△159,240
保険解約損益(△は益)	-	△31,520
たな卸資産減失損	-	16,500
売上債権の増減額(△は増加)	60,973	139,935
たな卸資産の増減額(△は増加)	△89,734	2,936,710
仕入債務の増減額(△は減少)	△170,673	△16,622
営業貸付金の増減額(△は増加)	△384,043	△33,781
前受金の増減額(△は減少)	1,996,389	△3,359,360
その他	△234,250	133,350
小計	2,119,573	1,078,562
利息及び配当金の受取額	3,291	2,586
利息の支払額	△216,093	△177,958
法人税等の支払額	△76,044	△88,709
法人税等の還付額	78,096	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,908,822	814,481

<訂正前>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年 7月 1日 至 平成28年 6月 30日)	当連結会計年度 (自 平成28年 7月 1日 至 平成29年 6月 30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,004	△12,004
定期預金の払戻による収入	15,600	19,634
有形固定資産の取得による支出	△610,534	△591,559
無形固定資産の取得による支出	△8,801	△4,832
有形固定資産の売却による収入	198,021	948,047
投資有価証券の取得による支出	△45,613	△90,554
投資有価証券の売却による収入	20,914	76,284
貸付けによる支出	△24,900	△66,200
貸付金の回収による収入	49,289	4,083
敷金の差入による支出	△19,885	△48,383
解約に伴う敷金回収による収入	34,983	15,428
資産除去債務の履行による支出	△9,145	△9,123
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△2,990	-
その他	△47,936	△3,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△463,001	237,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△927,000	△2,770,000
長期借入れによる収入	1,527,000	2,920,000
長期借入金の返済による支出	△1,454,654	△1,711,704
リース債務の返済による支出	△212,816	△196,053
配当金の支払額	△81,230	△81,340
非支配株主への配当金の支払額	△29	-
株式の発行による収入	5,382	-
その他	1,120	1,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,142,227	△1,837,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,286	1,176
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	301,307	△783,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,622,537	1,923,845
現金及び現金同等物の期末残高	1,923,845	1,139,900

<訂正後>

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成27年 7月 1日 至 平成28年 6月30日)	(自 平成28年 7月 1日 至 平成29年 6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△47,056	255,249
減価償却費	641,750	630,574
減損損失	22,173	272,230
のれん償却額	97,249	93,806
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,017	38,241
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,710	8,690
株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,918	1,728
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,916	1,243
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△278	△623
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	1,046
受取利息及び受取配当金	△3,291	△2,586
支払利息	217,098	179,588
固定資産除却損	1,484	3,907
投資有価証券売却損益(△は益)	△106	△913
固定資産売却損益(△は益)	8,781	△159,240
保険解約損益(△は益)	-	△31,520
たな卸資産減失損	-	16,500
売上債権の増減額(△は増加)	60,973	139,935
たな卸資産の増減額(△は増加)	△89,734	3,037,979
仕入債務の増減額(△は減少)	△170,673	△16,622
営業貸付金の増減額(△は増加)	△384,043	△33,781
前受金の増減額(△は減少)	1,996,389	△3,359,360
その他	△234,250	127,660
小計	2,119,573	1,203,733
利息及び配当金の受取額	3,291	2,586
利息の支払額	△216,093	△177,958
法人税等の支払額	△76,044	△88,709
法人税等の還付額	78,096	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,908,822	939,653

<訂正後>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年 7月 1日 至 平成28年 6月 30日)	当連結会計年度 (自 平成28年 7月 1日 至 平成29年 6月 30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,004	△12,004
定期預金の払戻による収入	15,600	19,634
有形固定資産の取得による支出	△610,534	△781,466
無形固定資産の取得による支出	△8,801	△4,832
有形固定資産の売却による収入	198,021	966,954
投資有価証券の取得による支出	△45,613	△90,554
投資有価証券の売却による収入	20,914	76,284
貸付けによる支出	△24,900	△66,200
保険積立金の解約による収入	-	31,520
貸付金の回収による収入	49,289	4,083
敷金の差入による支出	△19,885	△48,383
解約に伴う敷金回収による収入	34,983	15,428
資産除去債務の履行による支出	△9,145	△9,123
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,990	-
その他	△47,936	△3,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△463,001	98,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△927,000	△2,770,000
長期借入れによる収入	1,527,000	2,920,000
長期借入金の返済による支出	△1,454,654	△1,711,704
リース債務の返済による支出	△212,816	△181,744
配当金の支払額	△81,230	△81,340
非支配株主への配当金の支払額	△29	-
株式の発行による収入	5,382	-
その他	1,120	1,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,142,227	△1,822,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,286	1,176
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	301,307	△783,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,622,537	1,923,845
現金及び現金同等物の期末残高	1,923,845	1,139,900

【訂正箇所】添付資料 15ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(追加情報)

<訂正前>

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(実務対応報告 第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日)を当連結会計年度から適用しております。

<訂正後>

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針 第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日)を当連結会計年度から適用しております。

【訂正箇所】添付資料 16ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(セグメント情報等)

セグメント情報

<訂正前>

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制の下、駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する業務を主とした「駐車場事業」と、マンション等の開発業務や不動産賃貸・仲介業務及び不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品の販売を主とした「不動産等事業」、また、水素水の製造、販売を主とした「ウォーター事業」、温浴施設、ゴルフ練習場の運営を主とした「アミューズメント事業」、RV車の製造、販売を主とした「RV事業」の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 平成 27 年 7 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	報告セグメント					計
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	R V事業	
売上高						
外部顧客への売上高	6,620,620	3,739,195	2,208,367	841,114	246,557	<u>13,655,855</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,856	12,863	2,612	1,229	—	21,561
計	6,625,476	3,752,058	2,210,979	842,344	246,557	<u>13,677,416</u>
セグメント利益又は損失（△）	535,721	△204,317	103,186	△29,930	△129,136	<u>275,523</u>
セグメント資産	2,012,594	8,748,192	705,210	1,208,551	454,485	<u>13,129,034</u>
その他の項目						
減価償却費	299,729	55,226	25,112	125,959	27,148	<u>533,176</u>
のれん償却額	33,884	—	16,666	37,362	7,270	95,184
減損損失	12,884	—	—	9,218	—	22,102
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	166,381	604,959	90,878	1,288	49,163	<u>912,671</u>

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	<u>373,100</u>	14,028,955	—	14,028,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	92,947	114,509	△114,509	—
計	<u>466,047</u>	14,143,464	△114,509	14,028,955
セグメント利益又は損失（△）	<u>19,185</u>	294,708	△1,619	293,088
セグメント資産	<u>2,665,069</u>	15,794,103	2,445,937	18,240,040
その他の項目				
減価償却費	<u>100,441</u>	633,618	8,039	641,657
のれん償却額	2,065	97,249	—	97,249
減損損失	70	22,173	—	22,173
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	<u>796,732</u>	1,709,403	10,715	1,720,119

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディアカルサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	当連結会計年度
セグメント間取引消去	387,125
全社費用 (注)	△388,681
棚卸資産等の調整額	△64
合計	△1,619

(注) 全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

セグメント資産 (単位：千円)

	当連結会計年度
全社資産	2,555,591
セグメント間取引消去	△109,654
合計	2,445,937

3. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成 28 年 7 月 1 日 至 平成 29 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	報告セグメント					計
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター 事業	アミューズ メント事業	R V 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	6,643,298	8,316,339	1,152,023	737,463	316,686	17,165,810
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,096	35,768	3,506	3,610	278	49,260
計	6,649,394	8,352,107	1,155,529	741,073	316,965	17,215,071
セグメント利益 又は損失（△）	576,134	503,720	△85,528	△94,771	△149,391	750,163
セグメント資産	1,655,219	5,049,274	458,622	1,005,206	479,196	8,647,520
その他の項目						
減価償却費	252,092	80,894	28,817	112,437	42,689	516,931
のれん償却額	33,884	—	16,666	35,387	7,270	93,208
減損損失	21,861	19,971	23,060	91,649	77,033	233,576
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	177,494	105,283	2,968	15,579	113,911	415,237

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	418,209	17,584,020	—	17,584,020
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	211,903	261,163	△261,163	—
計	630,112	17,845,184	△261,163	17,584,020
セグメント利益 又は損失（△）	△160,662	589,501	33,736	623,237
セグメント資産	2,653,657	11,301,177	1,616,365	12,917,543
その他の項目				
減価償却費	101,966	618,897	11,585	630,482
のれん償却額	597	93,806	—	93,806
減損損失	2,292	235,869	36,361	272,230
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	46,780	462,017	34,075	496,093

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディアカルサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	当連結会計年度
セグメント間取引消去	445,647
全社費用（注）	△409,365
棚卸資産等の調整額	△2,545
合計	33,736

(注) 全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

セグメント資産 (単位：千円)

	当連結会計年度
全社資産	1,801,710
セグメント間取引消去	△185,344
合計	1,616,365

3. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

<訂正後>

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制の下、駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する業務を主とした「駐車場事業」と、マンション等の開発業務や不動産賃貸・仲介業務及び不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品の販売を主とした「不動産等事業」、また、水素水の製造、販売を主とした「ウォーター事業」、温浴施設、ゴルフ練習場の運営を主とした「アミューズメント事業」、医療機関への不動産賃貸や各種コンサルティング業務を主とした「メディカルサービス事業」、RV車の製造、販売を主とした「RV事業」の6つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 平成 27 年 7 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	報告セグメント						
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター 事業	アミューズ メント事業	メディカル サービス事業	R V事業	計
売上高							
外部顧客への 売上高	6,620,620	3,739,195	2,208,367	841,114	189,188	246,557	13,845,043
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,856	12,863	2,612	1,229	—	—	21,561
計	6,625,476	3,752,058	2,210,979	842,344	189,188	246,557	13,866,605
セグメント利益 又は損失（△）	535,721	△204,317	103,186	△29,930	55,486	△129,136	331,009
セグメント資産	2,012,594	8,748,192	705,210	1,208,551	2,602,958	454,485	15,731,992
その他の項目							
減価償却費	299,729	55,226	25,112	125,959	94,923	27,148	628,100
のれん償却額	33,884	—	16,666	37,362	—	7,270	95,184
減損損失	12,884	—	—	9,218	—	—	22,102
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	166,381	604,959	90,878	1,288	777,433	49,163	1,690,104

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	183,911	14,028,955	—	14,028,955
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	92,947	114,509	△114,509	—
計	276,859	14,143,464	△114,509	14,028,955
セグメント利益 又は損失（△）	△36,300	294,708	△1,619	293,088
セグメント資産	62,110	15,794,103	2,445,937	18,240,040
その他の項目				
減価償却費	5,518	633,618	8,039	641,557
のれん償却額	2,065	97,249	—	97,249
減損損失	70	22,173	—	22,173
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	19,299	1,709,403	10,715	1,720,119

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	前連結会計年度
セグメント間取引消去	387,125
全社費用 (注)	△388,681
棚卸資産等の調整額	△64
合計	△1,619

(注) 全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

セグメント資産 (単位：千円)

	前連結会計年度
全社資産	2,555,591
セグメント間取引消去	△109,654
合計	2,445,937

3. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成 28 年 7 月 1 日 至 平成 29 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	報告セグメント						
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター 事業	アミューズ メント事業	メデイカル サービス事業	R V 事業	計
売上高							
外部顧客への 売上高	6,643,298	8,316,339	1,152,023	737,463	189,684	316,686	17,355,495
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,096	35,768	3,506	3,610	—	278	49,260
計	6,649,394	8,352,107	1,155,529	741,073	189,684	316,965	17,404,756
セグメント利益 又は損失（△）	576,134	503,720	△85,528	△94,771	△6,945	△149,391	743,217
セグメント資産	1,655,219	5,049,274	458,622	1,005,206	2,500,144	479,196	11,147,664
その他の項目							
減価償却費	252,092	80,894	28,817	112,437	93,794	42,689	610,725
のれん償却額	33,884	—	16,666	35,387	—	7,270	93,208
減損損失	21,861	19,971	23,060	91,649	—	77,033	233,576
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	177,494	105,283	2,968	15,579	40,876	113,911	456,113

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	228,524	17,584,020	—	17,584,020
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	211,903	261,163	△261,163	—
計	440,427	17,845,184	△261,163	17,584,020
セグメント利益 又は損失（△）	△153,716	589,501	33,736	623,237
セグメント資産	118,812	11,266,477	1,651,065	12,917,543
その他の項目				
減価償却費	8,171	618,897	11,585	630,482
のれん償却額	597	93,806	—	93,806
減損損失	2,292	235,869	36,361	272,230
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	5,904	462,017	34,075	496,093

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	当連結会計年度
セグメント間取引消去	445,647
全社費用 (注)	△409,365
棚卸資産等の調整額	△2,545
合計	33,736

(注) 全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

セグメント資産 (単位：千円)

	当連結会計年度
全社資産	1,836,410
セグメント間取引消去	△185,344
合計	1,651,065

3. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。